

2008年度 長岡高専中学生科学クラブ 第1回講座 高アミロース米の田植え

2008年5月10日（月） 10:00～12:00

見附市 廣嶋総一さんの田んぼ 10アール



曇りで少し肌寒い日でしたが、長岡高専中学生科学クラブ1回目の講座として、みんな元気に高アミロース米「新潟79号 こしのめんじまん」の苗を植えました。

参加者は中学生6名、小学生3名、高専生5名、大人16名の計30名でした。

高アミロース米は、米中のデンプン（アミロースとアミロペクチンからできている）の中のアミロースが、毎日食べているご飯の米より多い、新しい米品種です

（田植えに参加していただいた新潟県農業総合研究所の石崎和彦先生が開発しました）。ご飯にしても美味しくないけど、米粉にして、メンやパンにすると美味しいと期待されています。今回の田植えは、美味しい米粉を使いたいブルボンと変わった米を作りたいエコライス、その開発のお手伝いをしている長岡高専が共同で、長岡市の研究

費で行ったものです。秋、今回の米を稲刈りして、米粉を作って米パン、米うどん、米ラーメン、米スパゲッティ、米ピザなどにして食べてみましょう。



← 新潟79号の開発者
石崎先生



← →
みんなで田植え



**高アミロース米
小学生ら田植え**
新潟・長岡高専が講座



田植えは、市内外から小・中学生30人が参加し、廣嶋総一さんの10アールの圃場（ほしよ）で行われた。「新潟79号」を開発した、新潟県農業総合研究所作物センター青穂科品種育成グループ専門研究員・博士の石崎和彦さんも参加。米を食べても食後の血糖値が上がりやすく、生活習慣病や太り気味の人の向く、「品種の特性を説明した。見附市立西中学校3年生の川崎さんは「塾の先生に勧められて参加した。田植えの中は、ねちねちして気持ち悪かったが楽しかった」と話した。「新潟79号」の活用は長岡市産学共同実験事業として、長岡高専のほか、御エコ・ライス新潟、ブルボンが連携している。ブルボンの商品開発センター健康科学研究所研究推進室の金子愛さんは「秋に収穫された米から、新しい商品開発を手がけたい」と話している。



← 田んぼとカエルと苗

田植えをしていたら日本農業新聞の記者さんが通りがかり、5月14日（水）の新聞に記事が出ました。